

【東秩父村】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

東秩父村では中央教育審議会の答申第228号の『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して』を踏まえて、「個別最適な学び＋協働的な学び」をICT環境によって実現する必要があると考えている。

東秩父村において、「個別最適な学び」とは、

- ・子供の成長やつまずきの理解するために、ICTの活用により、学習履歴の把握をすること。
 - ・個々の興味・関心・意欲などを踏まえて、きめ細かく指導・支援するために、情報通信ネットワークの環境を整え、自ら、学習しやすい環境をつくること。
- と定義する。

東秩父村において、「協働的な学び」とは

- ・ICTの利活用により、空間的・時間的制約を超えた、県外や国外への発信や学び合いを進めていくこと。
- と定義する。

以上の通り、東秩父村では「個別最適な学び＋協働的な学び」をICT環境によって実現することを「1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿」とする。

2. GIGA第1期の総括

GIGA端末は児童生徒全員に行き渡っており、授業での活用場面は多くなってきている。課題として、通信速度の問題など通信ネットワークの整備があったが、今年度更改を控えており、改善が予想される。

3. 1人1台端末の利活用方策

1人1台端末の利活用を進めていくためには、教員のICT研修を毎年度行い、指導力の向上をはかっていく。AIドリルを活用し、1人1人の児童生徒の学習履歴を把握し、1人1人の個に応じた指導を進める必要がある。また、不登校児童生徒、個別な支援が必要な児童生徒などに対して、ICTを活用した学習支援を行っていく。ICTの活用により、空間的・時間的制約を超えた、県外や国外への発信や学び合いを進めていくことを通して、情報発信力を身につけていきたい。